



年 頭 所 感

江別市体育協会 会長 嶋倉 昭

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族共々健やかに新しき年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、ラグビーフットボールが大きな話題となりました。ラグビーは、体格、体力、パワーが求められ、ヨーロッパやアフリカ勢が世界のトップクラスを占め、日本ではマイナーな扱いをされてきたように思います。日本チームのキャプテンが、世界トップのニュージーランドから札幌山の手高校にラグビー留学に来ていたことは驚きです。2019年のワールドカップ日本開催でのすばらしい活躍を期待しましょう。

さて、今年はリオデジャネイロオリンピック開催の年です。我が陸上十種競技右代啓祐選手は、昨年の北京での世界陸上で不本意な結果に終わったことを踏まえ、課題や不得手な種目を克服するため、過酷な練習を重ね1月早々からアメリカで合宿を組んでおります。郷土江別のファンの声援に応え、何とかリオ出場の代表権を勝ち取ってほしいものです。

オリンピックと言えば、2020年の東京オリンピックの新国立競技場の設計案が提案されました。1,500億円未満とのことではありますが、競技者と施設を管理運営する立場に立った施設建設が望まれます。先日、函館市の新アリーナを視察する機会がありました。総額70億円余、誠に立派で大きなイベントにはもってこいの施設ですが、市民が健康増進で個人利用するにはやや難点があり、個人使用料も割高なようで、関係者は頭を悩ましていました。オリンピック施設もデザインや外観にこだわるのではなく、機能性や管理面に配慮した設計で、オリンピック終了後も利用しやすい施設建設に腐心してほしいものです。

施設整備でもう一つ申し上げます。三好市長の肝いりで、平成26年8月20日「江別市スポーツ合宿誘致推進協議会」が発足し、私も体育協会を代表して役員に委嘱されております。その目的は、道立野幌総合運動公園施設を中心として、2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿をはじめとして、各種合宿誘致を推進しようとするもので、体育協会加盟団体にも合宿の意思が確認されています。運動公園施設は、建設から30年近くなり、老朽化とともに国際競技連盟の基準に適合したものがない現状です。昨年11月12日、三好市長と協議会の増山会長（北翔大学教授）共々、道庁の関係部局に施設整備の要請を行ってきましたが、感触はかんばしくなく、これからのハードルも高いものがあると認識しているところです。

いろいろ想いつくまに雑感を述べてきましたが、今年もスポーツ団体らしく「元氣」で「スクラム」を組んで「スピード」をもって、江別市のスポーツ振興に取り組んでいきたいと思っております。

北海道スポーツ少年団 創設50周年記念特別表彰

特別功労賞に江別市スポーツ少年団から3氏



佐古 利男 氏



大郷 正裕 氏



山本 幸秀 氏

12月19日に北海道スポーツ少年団創設50周年記念式典が開催され、スポーツ少年団の結成や組織の充実・発展に38年以上にわたり貢献され、現在でもその活動を継続されている指導者79名と、団体結成38年以上にわたり継続活動し、他の模範となっている127団体に贈られました。江別市スポーツ少年団では「特別功労賞」を顧問の佐古利男氏、指導者協議会副会長の大郷正裕氏、江別スイミングスイフト指導者の山本幸秀氏の3氏が受賞しました。「特別優秀団」を江別剣道、野幌剣道、大麻卓球、江別スイミングスイフト、大麻剣道、東野幌剣道、江別水泳の7団体が受賞しました。

■平成 27 年度江別市体育協会表彰受賞者

特別賞	右代 啓祐 氏	江別市体育協会推薦
江別市出身の陸上 10 種競技選手として、2012 年のロンドンオリンピックに出場した。2014 年の仁川アジア大会では金メダルを獲得し、江別市では初めてとなる市民栄誉賞を受賞された。2010 年から 2015 年まで日本選手権 6 連覇を達成し、この間 2011 年には日本記録を塗り替え、2014 年には 2 度自身の記録を更新した。 これらのことは、未来を担う子どもたちをはじめ多くの江別市民に夢と希望と感動を与え、江別市のスポーツの発展に多大な貢献をされた。		
特別賞	蝦名 冬馬 君	江別市武術太極拳連盟推薦
2014 年に日本武術太極拳連盟強化選手候補として同連盟主催の冬季合宿に参加した。2015 年 4 月に神奈川県藤沢市で行われた JOC ジュニアオリンピック大会にて 24 式太極拳・32 式太極拳の両種目で 1 位を獲得し、その後「第 8 回アジアジュニア武術選手権大会」日本代表選手選考会を通過し日本代表選手入りを果たした。 8 月 6 日～9 日に中国の内モンゴル自治区にて開催された同大会にて、太極剣 1 位（金メダル）、太極拳 2 位（銀メダル）を獲得するという快挙を成し遂げたことは、市民に大きな感動をもたらした。		
最優秀選手賞	稲葉 里奈 氏	江別スキー連盟推薦
2015 年 3 月 12 日～15 日に宮城県蔵王において開催された「全日本スノーボード技術選手権大会」で優勝した。この大会においては 2013 年から 3 年連続で優勝したことになり、3 連覇という輝かしい成績を挙げた。同大会は、全日本スキー連盟のスノーボードの指導者がその技術を競う全国大会であり、稲葉里奈選手は、指導活動の傍らこの大会の出場を目指し、岩見沢グリーンランドホワイトパークスキー場で懸命に練習に励んできた。		
功労賞	伊藤 博明 氏	江別パークゴルフ協会推薦
平成 9 年 4 月 1 日江別パークゴルフ協会に入会し、パークゴルフ場の整備や会員の拡大等、創立間もないパークゴルフの普及発展に大きく貢献された。 その後においても、同協会の各役員を歴任し、会員相互の交流や親睦を目的とした市民参加の各種大会を企画し、同協会の発展に寄与された。 また、自ら指導員の資格を取得し、率先して会員に対するルール・マナーや技術指導を行うなど会員の育成にも尽力された。		
功労賞	工藤 祐三 氏	江別水泳協会推薦
江別水泳協会（当時：連盟）の設立発起人の一人として理事長等を歴任され、同協会の発展に多大な貢献をされた。 また、日本体育協会公認水泳上級指導員・赤十字水上安全法指導員として、長年にわたって指導に当たり、江別市における水泳の普及発展に大きく寄与された。		
功労賞	中ノ目 敏雄 氏	江別柔道連盟推薦
高校教員として永く生徒の学力向上生活力向上に尽力しながら、柔道部顧問としても柔道指導を通じた青少年の健全育成に力を発揮された。一方、1992 年より江別柔道連盟に加入し、幹事を経て 1995 年から理事・常任理事として今日まで柔道大会の運営、同連盟発展に大きく寄与された。 また、江別市体育協会では、柔道連盟推薦理事として連携強化に尽力されている。		
功労賞	茶木 秀昭 氏	江別市陸上競技協会推薦
長年にわたって江別市陸上競技協会の役員を歴任し、平成 10 年からは理事長として同協会の発展に大きく貢献された。 また、道央陸上競技協会では、代表理事の要職を務められている。 近隣の競技会、大会にはほとんど出席して選手たちの面倒をみて、熱心に指導に当たっており、江別市における陸上競技の発展に大きく寄与されている。		
功労賞	飯田 進作 氏	江別野球連盟推薦
昭和 51 年 4 月、自治会発足後の融和と地域社会に貢献するため、野球部設立の発起人となり、老若問わずチームに参加できるように、チーム名称を「オールドヤング」として、江別野球連盟に登録した。チームのまとめ役として活躍するほか、同連盟の登録チームとして長年にわたり大会運営等に尽力され、軟式野球の普及発展に大きく寄与された。 平成 12 年 4 月に江別野球連盟の監査に就任し、事業運営や会計処理について適切な指導・助言を行うなど同連盟の円滑な運営と発展に多大な貢献をされた。		
功労賞	江口 慎一 氏	江別空手道連盟推薦
江別空手道連盟の理事として、長年にわたって同連盟の発展に尽力され、空手道の普及及び拡大に多大な貢献をされた。 また、平成 9 年より野幌空手道 JSC の指導員として、主にスポーツ少年団員の技術指導者として技術向上に努められ、青少年の健全育成にも熱心に取り組まれている。		
功労賞	渋谷 研一 氏	江別バレーボール協会推薦
中学、高校、大学でバレーボール競技を行い、江別市役所に奉職後も選手、監督、部長として活躍した。この間 選手として 16 回、監督として 6 回の国民体育大会等の全国大会出場を果たした。江別バレーボール協会の役員として、同協会の発展に寄与されるとともに、江別市におけるバレーボール競技の普及発展や円滑な大会運営等に多大な貢献をされた。 また、平成 11 年からは北海道バレーボール協会の総務委員長、副理事長を歴任し、現在は理事長の要職にある。		

■平成27年加盟団体大会&成績

平成27年全国中学校体育大会

第55回全国中学校水泳競技大会（秋田県開催）に出場

江別水泳協会

第36回北海道中学校水泳大会（江別市開催）において大麻東中学校の岸上慶次郎（中学1年生）が200mバタフライで全国大会標準記録を見事に突破し、8月17日～19日に秋田県で開催された全国大会に出場しました。中学1年生の男子で全国大会に出場するのは非常に難しく、岸上君のこれからの活躍に期待がかかります。



第8回アジアジュニア武術選手権大会／第26回北海道武術太極拳交流大会

江別市武術太極拳連盟

8月6日～9日に中国・内モンゴル自治区にて行われたアジアジュニア大会にて、当連盟の蝦名冬馬と寺岡瑠里が太極拳部門の日本代表選手として出場し、蝦名選手が2種目で金・銀メダル、寺岡選手が2種目で入賞を果たしました。

また9/12・13に苫小牧市で開催された北海道大会では当連盟から延18名の入賞者と、7名の来年度全国大会太極拳北海道代表選手が輩出されました。

蝦名選手



寺岡選手



■第35回全日本バレーボール小学生大会南北海道大会（倶知安）

男子決勝 上江別アタッカーズ2-0江別中央ガッツ 女子決勝 江別中央ジャンプ0-2泉野V.C（苫小牧）

■第35回全日本バレーボール小学生大会（東京都外）

予選グループ戦 上江別アタッカーズ0-2石海（兵庫）・上江別アタッカーズ0-2松茂S.V.C（徳島）

■第45回北海道中学校バレーボール大会（旭川市）

男子決勝 江別中央中1-2岩見沢星園・豊（空知）

■第45回全日本中学校バレーボール選手権大会（旭川市）

予選グループ戦 江別中央中は1勝1敗で決勝トーナメント進出

決勝トーナメント1回戦 江別中央中0-2広島市立東原中（広島県）

■平成27年度北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会

男子決勝リーグ とわの森三愛高校 1勝2敗（第3位）

■第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）北海道代表決定戦

男子決勝 とわの森三愛高校1-2東海大学付属第四高校 *「とわの森」は2年ぶり9回目の全国大会出場

江別バレーボール協会

第 33 回全日本ジュニア新体操選手権大会報告

江別新体操協会

北海道予選会が 8 月 29 日、30 日に野幌運動公園体育館で開催されました。

北海道新体操クラブ江別 A は、日頃の練習の成果を発揮し準優勝。B チームは 3 位と全国大会出場切符を手中に納め、東京代々木体育館で 10 月 10 日、11 日に行われた大会に出場しました。

新体操江別クラブ A は、目標のメダルには届きませんでしたが、見事 4 位入賞と大健闘でした。

また、B チームは自然で美しく正確な運動が評価され、来年度の大会が楽しみです。28 年度の目標を全日本ジュニア新体操選手権大会優勝と掲げ、毎日練習に精を出しております。

選手

吉村 航也（江別第一中）	西山 晃介（野幌中）	大野 和真（東野幌小）
大西 竣介（江別第三中）	浪田 倭（大麻中）	佐藤 佳太（東野幌小）
伊賀 健介（江別江陽中）	工藤 蒼太（江別小）	中根 葉（野幌若葉小）
海谷 燎摩（野幌中）	五十嵐正宗（中央中）	北川 竜羽（東野幌小）



■第 32 回全日本少年軟式野球大会北海道大会（7 月 18 日～釧路）

決勝 立命館慶祥中 9 - 5 別海中央中

立命館慶祥中は 8 月 10 日から横浜スタジアムでの全国大会に初の出場。

1 回戦 立命館慶祥中 1 - 2 日野中（九州）

■第 38 回東日本軟式野球南北海道大会（2 部）（9 月 12 日～石狩市外）

決勝 SEVEN SEA（石狩）6 - 3 JA ピンネ（北空知）

SEVEN SEA は平成 28 年度に 1 部に昇格し、5 月 20 日から埼玉県で開催される全国大会へ出場する。

江別野球連盟



■石狩管内スポーツフェスタ2015 競技別成績(開催地:江別市)

No.	競技種目	競技日	種別	優勝	準優勝	3 位	江別市 選手役員
1	軟式野球	8 月 22 日(土)	一般	江別市	石狩市	当別町 新篠津村	22
2	ソフトテニス	8 月 16 日(日)	団体戦	江別市	千歳市	恵庭市	20
3	テニス	9 月 27 日(日)	一般男子	江別市	恵庭市	石狩市	14
			一般女子	恵庭市	石狩市	江別市	
4	バレーボール	8 月 23 日(日)	家庭婦人	恵庭市	江別市	石狩市	10
5	バドミントン	8 月 2 日(日)	一般	江別市	恵庭市	石狩市	12
6	剣道	8 月 9 日(日)	一般男子	千歳市	江別市	当別町	27
			一般女子	千歳市B	石狩市A	千歳市A	
			年齢別	恵庭市	江別市	当別町	
			高齢者	江別市	恵庭市A	当別町 新篠津村(混成)	
7	弓道	9 月 6 日(日)	団体戦	北広島市	千歳市	当別町	9
8	卓球	7 月 26 日(日)	男女混合団体戦	石狩市A	石狩市B	北広島市A	23
9	パークゴルフ	8 月 18 日(火)	男女混成	石狩市	恵庭市	当別町	12
10	ミニバレー	8 月 30 日(日)	男子の部	石狩市	江別市 当別町		34
			女子の部	江別市	恵庭市	当別町	
			男女混合の部	石狩市	江別市	恵庭市	
11	バスケットボール	8 月 22 日(土)	一般男子	江別市	千歳市	当別町	19
合計							202

*軟式野球は45年振りの優勝

*バスケットボールは6連覇 剣道「高齢者」は5連覇



■右代啓祐選手に江別市体育協会特別賞表彰盾の贈呈



11月25日新篠津村での「右代啓祐選手との交流交歓会」の席上で嶋倉会長から平成27年度江別市体育協会表彰特別賞(2面参照)の表彰盾が贈呈されました。

右代啓祐選手は、この前に新篠津村開村120年事業として村が企画した新篠津小学校での交流会に出席し、全校児童と交流をおこないました。



■加盟団体交流会

7月24日に「あおいピアガーデン」にて、江別市体育協会加盟団体交流会を開催しました。当日は、来賓、恵庭市体育協会4名を含め、総勢111名の出席者の中、金内理事長の司会進行で大変和やかに進められました。

■スポーツワークショップ2015(主催:石狩管内体育協会連絡協議会)

「猫背は治る!! 治せる!!」

11月14日に恵庭市総合体育館で開催されました。参加者総数は75名で、江別からは7名が出席しました。

(一社)姿勢道普及協会理事長の清水 真氏が講師で、講義では「姿勢と健康」をテーマに「正しい姿勢が健康および運動動作に及ぼす影響」、実技では「姿勢を良くするための背のばし体操」としまして、猫背解消ストレッチ、子どもの身長アップ体操法、姿勢を支える体幹トレーニング等がユーモアを交えながら指導されました。



右代啓祐選手応援
オリジナルキーホルダーを市内4体育館で販売中です。

1個 500円

発行 江別市体育協会
江別市野幌町9番地 江別市民体育館内
電話011-384-5001
編集 EASAだより編集委員会
委員長 金内晴夫
委員 鎌倉猛、中山喜美雄、安保美幸